



Welcome Blog

ホーム > 楽器

3,000円（税抜き）レスポールってどう？



2018/4/15 2021/7/23 楽器 編集

3,000円（税抜き）レスポールってどう？

■ Hard Offへの定期偵察にて

ご近所のHard Offへの定期偵察の際、箱の奥の方に埋もれた3,000円（ジャンク品、税抜き）の黒いレスポールを発見しました。ブランドはMaison（メイソン、メゾン？）というもので、さすが新品でもトピックラスの超激安ギターだけあり、ちょっと修理すればまだまだ使えそうな感じのジャンク品が、この値段で買えます。念入りに点検した結果：

- 1) マイナスポイント
 1. プライスカードに、「ジャックの接触が悪い」と書かれている
 2. ポットのノブが4つとも付いてない
 3. ゴールドの金属パーツは全てくすんでいる、全体が埃だらけで汚い
- 2) プラスポイント
 1. 素人が目で見える限り、ネックは曲がってない感じ
 2. ポットは全てスムーズに回せる（ガリガリ感や引っ掛かりはなさそう）、セレクトも普通に動く
 3. ベグも特段のグタは無い、ボディやパーツも汚れやくすみ以外に特段のダメージはなさそう

「格安部品ならノブとジャックを交換しても1,500円でおつりが楽そう」と、修理の見積もりしながら、購入するかどうか暫く検討していたところ、後から来たおじさんが16万円を超える本物のレスポール（中古）を今にも買いそうな勢いで、試奏を始めた。16万円のGibsonレスポールの購入を検討しているおじさんのすぐ横で、3,000円のギターの購入を躊躇している自分に恥ずかしくなり、税込み3,240円での購入となりました。

(後日談)

その後暫くして、またHard Offに行ってみたところ、おじさんが今にも買いそうな勢いで試奏していた16万円の本物のGibsonは、まだ残っていました。

■ 自宅にて

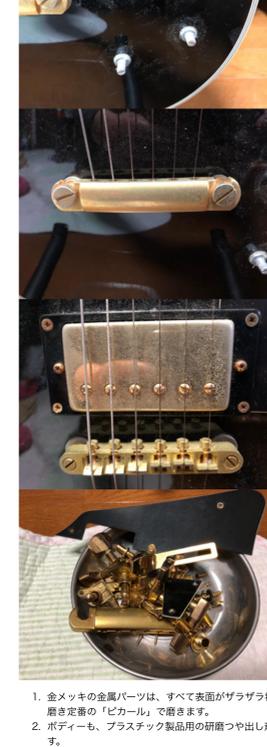
1) まずは音出し確認



1. 全てのポットは結構ガリがあります。接点復活剤でどこ迄復活するか、って感じです。
2. ジャックは、店頭でのプライスカードの記載通り、全然ダメっぽい感じです。プラグにちょっと触れるだけで、ガーガーすごいノイズです。
3. 弦アースもうまく聞いてないような感じもします。

とりあえずピックアップは生きていそうなので、何とかなりそうです。

2) それでは、本格的にクリーニング開始



1. 金メッキの金属パーツは、すべて表面がザラザラ状態なので、ピックアップ以外は全て外して、金属磨き定番の「ピカール」で磨きます。
2. ボディーも、プラスチック製品用の研磨つや出し剤で磨き、最後にギター用のワックスで仕上げます。
3. フレットもピカールで磨き、指板はオレンジオイルで汚れをきれいに落とします。

3) 清掃後の組み直し



1. ピカールで磨いて行くので、だんだん金メッキが薄くなり、銀色に変わって行くのが分かったため、完全に表面仕上げレベル迄磨き上げるのは止めました。これでもザラザラした感触はなくなっています。
2. 新品の弦を張り直します。
3. 弦高さとオクターブを簡単に調整します。

4) ポットのガリ取り

1. ボディー裏側のアクセスパネルを開け、全てのポットの接点復活剤をかけ、つまみをグリグリ回して、接点表面の汚れを落とします。（これを数回繰り返す）
2. 結果、まだ不完全ですが、かなりガリは取れました。このまま使って行けば、自然と接点が磨かれると思います。

5) 配線状態の確認

1. テスターで弦アースの状態を確認したところ、これは問題なさそうです。やはりジャックの接触不良が濃厚です。
2. 配線の状態も、目視では特にハンダが取れかけたり、断線しかかっている様子はないです。それにしても、内部配線は一切シールドしてないんですね。ポットもこれ迄見たものと比較し、直径が小さいです。この辺が安いギターのコスト削減のポイントのようですね。コンデンサーも、緑色（多分マイラーコンデンサー）の安そうなものが付いてました。
3. ジャックをなおしても、ノイズが気になるようなら、シールド付きのケーブルで配線し直したいと思います。

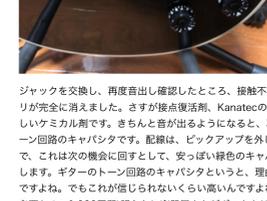


6) 部品発注

さすがにポットのノブが付いてないのは不細工なので、ポットの軸がミリ規格であることを確認し、本物のGibsonと同じ感じのノブを、アマゾンで発注しました。（4個セットで1,000円弱）またジャックも交換しないと先に進めないで、こちらもアマゾンで300円ちょっとで発注です。ジャックを交換してみても、その先どうするか考えたいと思います。もちろん修理にかけられる金額は、もうほとんど残されていませんので、今後出来ることは配線を交換するくらいですね。

7) 修理開始

とりあえず、ノブを取り付けてみました。これで見た目はいだいぶ様よくなって来ました。



ジャックを交換し、再度音出し確認したところ、接触不良によるガーガー音も消え、またポット4つともガリが完全に消えました。さすがに接点復活剤、Kanattecのローコスト・中古品ライブには欠かせない、すばらしいケミカル剤です。きちんと音が出るようになると、次に気になるのが、小汚い配線と、妙に安っぽいトーン回路のキャパシタです。配線は、ピックアップを外し、ポットも全部取り外さないと作業しにくいので、これは次の機会に回すとして、安っぽい緑色のキャパシタを換えて、今回の第一回の修理は一旦完了とします。ギターのトーン回路のキャパシタというと、理由はとも書く「オレンドロップ」ってやつが定番ですよ。でもこれが信じられないくらい高いんですね。Amazonでも1粒(?)500円近くします。（2個必要なので1,000円弱）明らかに楽器屋さんがポットより価格を設定していると思い、普通の電子工作用の部品屋さんを当たってみたところ、Les Paul向け定番の0.022uFがほぼ半額の260円（税不含み）で売ってました。（大量に買えばおまけで販売する奴らがいそうなので、お店の場所は教えません。）これなら500円ちょっとで2個分買えますので、早速お店迄出かけ、次回改修工事を使う線材と合わせて調達して来ました。



左の写真がキャパシタ交換後です。右の写真が元々付いていたキャパシタで、その容量は0.047uFでした。キャパシタ交換後、音出し確認しましたが、全てのポットとピックアップのセレクトスイッチとも正常、ノイズレベルもOKです。（注：音質がどうなってるかは聞かないでください。気持的には3,000円のギターとは思えない、十分良い音かと思っています。）配線とハンダ付けの汚さに耐えられず、全量り替えたいところですが、ここはこらえてアクセスパネルを閉じました。（ちなみに、下2つのポットのトーン回路周りはKanattec配線、上2つのポットのボリューム周り配線はオリジナルです。）

8) 今後の予定

次に弦を張り替えるタイミングで、ピックアップを外し、配線を全交換したいと思います。それ迄には、ギターが弾けるように練習しておきます。

kanattec 編集

関連記事

- 24時間マラソン スタート地点探索活動、他**
24時間マラソン スタート地点探索活動 ことしの24時間マラソンも、小田原どころか、神奈川県はカスリもしなかったようです。み...
記事を読む
- 久々に楽器ネタ (Hofnerバイオリンベース)**
久々に楽器ネタ ■はじめに 楽器のブランドや名前は知らなくても、バナナ画像の形のベースをご存知の方は多いですよ。ご...
記事を読む
- ジャパン・ビンテージ・ギター(?) グレードアップ作業**
ジャパン・ビンテージ・ギター(?) グレードアップ作業 ■追加情報です SEJモデルの回路図を添付します。修理や改造...
記事を読む

← スマホ入力替え 収支決算報告

→ 24時間マラソン スタート地点探索活動、他

コメントをどうぞ

kanattec としてログインしています。プロフィールを編集します。ログアウトしますか？※

が付いている欄は必須項目です

Comment input field

コメントを送信

ブログ内を検索

最近の投稿

- [撮録入門 挑戦14回目 \(動画撮影マイクの改善\)](#) 2025-01-18
- [箱根駅伝の中継 23周年記念](#) 2025-01-01
- [小田原周辺の謎\(21\) 清旬川の謎の箱](#) 2024-12-21
- [撮録入門 挑戦13回目](#) 2024-12-12
- [旅するお猿さん](#) 2024-11-30

最近のコメント

アーカイブ

月を選択

カテゴリー

カテゴリを選択